

この1年間の取り組みの報告



- ・ 昨年の7/13集会（会総会）で、以下のことを年間目標にした。

1、 大阪市教委に、松田幹雄さんの懲戒「戒告」処分を撤回させる。

- 子どもたちへの「君が代」強制を進めながら、市民への説明を拒否する小山健蔵部会長への抗議・申し入れと、大教大（学生・職員）ビラ配付活動を、9月・11月の予定で行う。
- その内容を、市教委（事務局）と各学校へも届けて、大阪市の教育施策の問題として宣伝する。
- 人事委員会の公開口頭審理（於・市役所）が始まれば、傍聴支援をよびかけ、当日1日の宣伝活動（市役所前ビラ配付、学校訪問・生徒ビラ配付活動、等）に取り組む。

2、 大阪市教委に、子どもたちへの「君が代」強制的調教「教育」を中止させる。

- 12月各区一斉校長会、1月末の教育長通知、4月全市校長会での、歌詞の意味（天皇）や戦前の「君が代」の扱いの歴史を教えないままでの、事前に練習して「しっかり」歌わせる指示を、やめさせる。
- 同時に、歌いたくない子どもへの指導についての市教委の市民公表回答を、上記のそれぞれに明示・追記させる。
- 3/9市民団体協議公式議事録の市教委側回答で、市教委自身が課題だと確認し表明した、戦前の「君が代」の扱いの歴史等の学習指導の課題について、改めて質問・要請書を提出して、市民団体協議を進める。

3、 大阪市「国旗・国歌条例」と「職員基本条例」の廃止をめざす運動を始める。

- 子どもへの強制・調教を目的に掲げている「大阪市国旗・国歌条例」を廃止させる。
- 職員の「同一職務命令3回違反で免職」という違憲条項の「担保」と位置づけられている「職務命令への異議申立」条項の破綻が明らかになった。また、処分案審議のための人事監察委員会・教職員分限懲戒部会が議事録を作成せず、審議結果の記録文書が一切存在しないという不当な実態も明らかになった。処分制度として破綻している「大阪市職員基本条例」自体を廃止させる。

4、 放課後の校門前での生徒ビラ配付活動を、市民から子どもたちへの社会教育活動として、「君が代」課題を柱にしてビラ内容を改訂し、続ける。全市130中学校訪問を目標にする。

5、 D-TaC会員を300人に増やし、活動経費を豊かにするとともに、生徒ビラ活動や人事委員会審理傍聴支援等の参加者を大きく増やす。

- ・ 振り返って、1・2と4については、ほぼやりきれた。
（詳しくは、5/17付「D-TaC 通信」第4号を参照してください。）
- ・ また、3については、人事委員会での論点整理と証人申請に向けて、人事監察委員会・教職員分限懲戒部会が議事録を作成しなかった誤りを認める教育委員会「裁決書」を出させた。

- ・ 5は未達成で、引き続きの課題。

今年度の活動目標



- ・ いよいよ（やっと）公開口頭審理に進む中で、昨年に引き続き5項目の活動を、一層広げたい。
 - 1、 大阪市教委に、松田幹雄さんの懲戒「戒告」処分を撤回させる。
 - 2、 大阪市教委に、子どもたちへの「君が代」強制的調教「教育」を中止させる。
 - 3、 大阪市「国旗・国歌条例」と「職員基本条例」の廃止をめざす運動を始める。
 - 4、 放課後の校門前での生徒ビラ配付活動を、市民から子どもたちへの社会教育活動として、「君が代」課題を柱にしてビラ内容を改訂し、続ける。
全市130中学校訪問を目標にする。
 - 5、 D-TaC会員を300人に増やし、活動経費を豊かにするとともに、生徒ビラ活動や人事委員会審理傍聴支援等の参加者を大きく増やす。
- ・ 特に、1の、今秋からの公開口頭審理の傍聴支援と、
4の、校長への訪問要請・生徒ビラ配付活動
(あと、中央区、西区、港区、大正区、鶴見区、
住之江区、西成区 合わせて残り31校。)
へのみなさんの参加を、よろしくお願いします。
以上です。



熱心に話を聞いてくれる女生徒2